

*平成 19 年 1 月 28 日 宇治市生涯学習センターにて

090128u

演題：吹矢の講演と吹き方と矢作りの実習指導

主催：(財)宇治市社会福祉サービス公社

講師：国際吹矢道協会 IFA 副会長 樋口 裕乗

本日お招きいただきまして誠に有り難うございます。

* 歴史、各種の筒や矢のタイプ、現況、問題点、JSFA との関係をお話して、質疑応答、矢作り実習、吹き方実習をいたします。

* 最初に申し上げておきますが私のほうが正当派で他は邪道だとは決して考えてはおりません。私のアイデアや考え方が誤っているか差し上げたはがきかメール、電話でぜひご意見を伺いたいと存じます。

* 私の国際吹矢道協会 IFA は日本スポーツ吹矢協会 JSFA と決して対立している訳ではなく、私は青柳会長の卓越した才能と努力にたいし深く感謝しています。青柳会長の努力がなかったなら吹矢の面白さがこれほどまでに広くしられなかったでしょう。JSFA は今世界最大の吹矢協会で今年社団法人に昇格する予定です。このように今まで全くどこにも無かった吹矢の協会が大きく発展したのも私が幾度もテレビに出演して全国放送されたことも効果があったと思います。長岡市で全国的に名前が知られている人は河合継之助、山本五十六、田中角栄、三波春男さんなどおりますが私もその中に入ると思います。

私も JSFA の顧問にしてもらっていますので積極的に JSFA の会報をコピーして配ったりして JSFA に入会を奨めています。長岡のような田舎町では東京まで出かけて吹矢の競技をしたいという人はいません。そういう吹矢の魅力を知らない気の毒な方達のために私のやり方で吹矢を宣伝しています。足の不自由な方を夜 7 時に車で迎いに行き体育館に連れてゆきます。もう一人の障害者の方は片手だけしか動きませんからパイプクリーニングが出来ません。6 本吹く度に私が棒をパイプにつっこんで結露をぬぐってやります。おそらくこんな涙ぐましい努力をしてまで吹矢を普及している人は他にはいないでしょう。

また JSFA の指導員がすでに何百人もおりますが、それらの方達はみな同じような挫折を味わっているのではないかと危惧しております。裏日本と表日本の格差のために裏日本では吹矢が普及しない点もありますが、JSFA のシステムが裏日本では機能しないようです。もっとシステムを改良すれば更に多くの JSFA 会員を増やすことができるはずです。

* JSFA はあまりにも発展してきたので現状認識を誤っているのではないかと危惧しております。まだまだ吹矢の認知度は低くニュースポーツとして定着するかどうか未定です。もっといろいろな手段を効じて吹矢人口、吹矢ファンを底上げしなければ他のニュースポーツのように明日うたかたの泡と消えるかも知れません。だから JSFA の他に吹矢の販売会社や団体があるから困るとは迷惑だというのは筋違いだと思います。そういう様々な多様の吹矢を試して比較して最もスポーツとしてよいタイプを決めていただくのがよいと思います。

* まずニュースポーツとは何かということを考えてみますと、まずルールが必要です。

ルールに基づいて公平に競技するがスポーツです。柔道は加納治五郎がルールを統一した

のでスポーツとして普及しました。剣道、弓道も同じく協会がルールを作り普及しています。空手、合気道、手裏剣などはまだルールがはっきりしておらず流派も沢山あります。当扇興は扇子を投げる遊びでルールがあるから江戸時代より今日まで続いております。吹き矢には以前競技のルールがなかったので H3 に吹き矢をスポーツとして見直してルールを作り「吹き矢健康法」を自費出版しました。現在世界で採用されている吹き矢のルールはその本に書かれている通りです。それまで吹き矢は遊びに過ぎなくスポーツにはならないと考えられておりました。

* 私が考案して実用新案特許になった矢作りの方法は短冊型のフィルムを巻いて矢を作るというアイデアですが、この方法で矢を作る後部が軽くなり重心が前から約 1/3 になり直進する矢になり、とても正確に的に当てることができるようになったのでスポーツにレベルアップが可能になりました。

* 以前は吹き矢は熱帯地方の原住民が狩猟に用いていたので野蛮で下品なイメージがあり一般には好まれなかったようです。また吹き矢は狩猟に用いるほど威力が無いことも無視されていた理由の一つです。

お金をかけるスポーツが高級で上品だと思っている人が多いようですが、スポーツは楽しさ面白さがあれば上品下品と差別する必要は全くありません。

バンジージャンプは南方の原住民が椰子の木の上から足につるを巻いて飛び降りたスポーツを輪ゴムを束ねた太いゴム紐に改良され安全性が高まったので世界中に普及しています。このように野蛮だと思われていた遊びでも改良すれば世界に普及するスポーツになるものもあります。

* カラクリ吹き矢は江戸時代の風俗史が書かれている守貞万稿には載っていませんが、弓矢のカラクリ仕掛けは掲載があります。吹き矢の仕掛けも同じような物だったかも知れません。世界中でカラクリ吹き矢仕掛けがあったのは日本だけです。

こういう見えても面白い吹き矢は日本の誇りで文化遺産です。私は何とかカラクリ吹き矢を再現できないかといろいろ考えた末、7字型のレバーで錘を落下させる方法を考案し実用新案特許を出願しました。この錘の落下エネルギーでカラクリ仕掛けを動かすことでいろいろなびっくりする楽しいアイデアを楽しんで頂けるようになりました。

* また私は吹き矢を世界的スポーツとして考えており日本だけでなく全世界で共通のルールにして行うスポーツにしたいと思いますので外国の人と頻りにメールで連絡して意見を交換しております。アメリカやフランスのスポーツ吹き矢大会にも出席しました。

* 外国人はフィルムを巻いて吹き矢の矢にする方法を全く知りません。

日本人はピアノ線のワイヤの矢が正確に当たると思っていないし、それを競技に使用したいと思う人はいませんが、外国人はフィルムの矢は玩具で正確に当たるとは思っています。ピアノ線の矢のほうが正確に当たると思っています。

吹き矢を世界スポーツにするにはフィルムの矢だけに限定していたのでは外国人は参加しません。この点を解決するためにワイヤリング的をスポンジマットに固定して行うことを提案しワイヤリング的を台湾のキャスルスポーツインタープライズ社に製作して貰っています。またマウスピースを筒につけて口を筒に押しつけて吹くことが一般的な方法になっている外国人にも参加できるようなルールにするとよいと思います。

私はダーツ、アーチェリーのルールを参考にして吹矢のルールを作りました。
アーチェリーには錘のウエイトを付けます。弓や矢の強さも強弱があります。吹矢も同じように長さだけ一定にしてそのほかは自由にしなければ外人は参加できません。
いろいろの矢やパイプの重さを加減して工夫研究する楽しみを奪うということは吹矢の面白さ魅力を半減します。

* 吹矢は現在日本で深刻な社会問題になっている中高年齢者の健康の問題の解決方法として最適のニュースポーツです。なぜかというと、とっても面白くて病みつきになるような長続きする生涯スポーツで工夫研究すれば上達して名人になれるし、経済的で誰でも製作や加工が可能なホームスポーツだからです。

このような吹矢は極めて有効な健康法ですから知らないで見過ごしている人は大変な損をしていると思いますので吹矢を普及して可哀想な人を救くって上げたいと思うボランティア精神で活動しております。ぜひ私が発見したとっても面白いニュースポーツの楽しさを出るだけ多くの人と共に分かち合い共有したいと思います。それには皆さんが私の考案工夫をよく理解して積極的に知人友人に普及宣伝していただきたいと思います。

さらに吹矢の他にも私が工夫考案したとっても面白い新しい遊びの数々もぜひお試しいただきたいと存じます。すべてスポーツ健康法になりとっても便利で面白く、知っている人は心が豊かになり知らない人は極めて大きな損失です。

940-0061 新潟県長岡市城内町 2-6-20

国際吹矢道協会 IFA www.sportsfukiya.net/

樋口 裕乗 Tel 0258-34-2303